第27回 にしん番屋まつり

と　き　5月31日（日）
午前11時
販売は午前10時から
（三平汁の提供は午前11時から）
ところ　旧花田家番屋

＜芸能発表会＞
・鬼鹿松前神楽保存会　・おびら太鼓麓龍
・鬼鹿中学校吹奏楽部
＜各種ゲーム大会＞
・大漁宝引き大会　・大漁ビンゴ大会
・大漁もちまき大会

送迎バス運行

番屋行：小平町役場 10:30
文化交流センター 10:35
豊浜バス停 10:40
千松バス停 10:44
元浜バス停 10:48
鬼鹿公民館 10:50
番屋発：まつり終了後運行

大漁ビンゴ大会

1枚100円のビンゴカードで千円札のつかみ取りや、豪華商品をゲットしよう!!
総額10万円

ちびっこ広場

金魚すくい、ゲームなど無料開放!!

グルメコーナー

ビンゴカード購入先着300人へにしんの三平汁の無料提供！この他、にしん焼き、タコの塩焼き、そば、焼き鳥など盛りだくさん!!

主催／にしん番屋まつり実行委員会　後援／小平町・小平町教育委員会

小平郷土資料通信 *No.45*

臼谷弁財天碑のころの「臼谷(ウシヤ)」

去る４月１日、臼谷稲荷神社境内の「臼谷弁財天碑」が町有形文化財に指定されました。「臼谷弁財天碑」は、町有形文化財としては第１号、平成元年３月１日町無形文化財に指定された「鬼鹿松前神楽」の文化財指定から２０年ぶりとなります。

「臼谷弁財天碑」が臼谷に建てられたのは、この石碑の向かって左側面の銘文から享保２１年(1736)と考えられます。さて、この碑が作られた頃の臼谷(ウシヤ)はどんな集落だったのでしょう。明治や大正、昭和初期のように、鰊漁で繁栄していたのでしょうか。北海道の鰊漁は１７世紀後半の寛文年間(かんぶん：1661～73)に発展しますが「松前地」と呼ばれた道南松前･函館付近にとどまるものでした。蝦夷地への出稼ぎ漁「追鰊(おいにしん)」が発展し、鰊を追って多数の和人(わじん：松前地に住む本州系住民)が蝦夷地に入り込むようになるのは、安永･天明期(あんえい･てんめい：1772～89)に「松前地」の凶漁をへてのこと。こうした事実から考えると「臼谷弁財天碑」が臼谷に建てられた頃、「追鰊」はまだ盛んになっておらず臼谷には和人は少なく、鰊漁もあまり盛んではなかったと想像できます。当時臼谷にはアイヌのコタン(集落)がありました。蝦夷地で鰊漁が盛んになる前で、干鮭(からざけ：乾燥させた鮭)や串貝(あわび)が主な産物でした。「臼谷弁財天碑」を建てたのは松前の豪商村山伝兵衛とみられていますが、村山はコタンがあった臼谷に交易のためにやってきました。そして何らかの交易拠点を設け、航海安全･商売繁盛などの祈りを込めて置かれたのが、この弁財天碑であると考えられます。明治になってこの弁財天碑も忘れ去られ、今に至ったとみられます。２７３年の時を超えた文化財です。守り伝えていきたいものです。

町有形文化財になった「臼谷弁財天碑」
臼谷弁財天碑保存会(工藤雄壽会長)も結成され、今後の保護･活用が期待されています。

５月の古文書解読講座の予定
19日㈫に実施します

狂言とコントが結婚したら「現代狂言　北海道公演」IN小平

古典狂言「佐渡狐」／現代狂言「東京パンダ」（佐渡狐のもどき）／現代狂言新作「サードライフ」

日　程：７月26日（日）　会場：文化交流センター（開場12：30　開演13：00）
入場料：一般　3,000円　　高校生以下　2,000円　＊全席自由　＊未就学児入場不可
発　売：各チケットセンターにて、５月下旬の販売を予定しております。
＊＊
担　当：文化交流センター（金子）